

# System Center 2012 R2 による インフラ ストラクチャの監視



自社のデータセンターや、サービス プロバイダーのデータセンター、Windows Azure の一元管理を行う Microsoft System Center 2012 R2 を使用することで、マイクロソフト クラウド OS のメリットを実感できます。

System Center 2012 R2 の Operations Manager コンポーネントが提供するインフラストラクチャの監視機能は、物理、仮想、クラウドインフラストラクチャに対して、場所を意識しない包括的な監視によりクラウド OS をサポートします。

インフラストラクチャの監視により、次のような機能一式を利用できます。

- ベストオブブリードな Windows 監視と、Linux および VMware などのリッチなクロスプラットフォーム監視
- 物理および仮想化されたデバイスの参照・確認などの、ネットワーク監視
- Windows Azure リソースのインフラストラクチャのヘルスマネジメント
- System Center Advisor との連携によるベストプラクティスを用いたワークロードの構成

ハイブリッド クラウド環境を最適化するには、複雑なアプリケーションおよびオペレーティング システム インフラストラクチャにおいて確実なパフォーマンスを引き出し、可用性を確保する管理ソリューションが必要です。監視機能を強化した System Center 2012 R2 は、オンプレミス、サービス プロバイダー、および Windows Azure 環境の物理、仮想、およびクラウド展開を一括して管理します。

## 物理、仮想、およびクラウド インフラストラクチャの 包括的な監視

今日では、多くの組織が物理、仮想、クラウド リソースを活用して、多様なオペレーティング システムやビジネスクリティカルなアプリケーションを運用しています。その結果、インフラストラクチャの正常性監視や可用性の維持、信頼性の高いワークロード構成の構築に複雑なツールセットに依存している組織が少なくありません。

System Center 2012 R2 の構成要素である Operations Manager は、オンプレミスのデータセンター、サービス プロバイダーのデータセンター、および Windows Azure に分散する物理、仮想、クラウド インフラストラクチャを一元的に管理する包括的なインフラストラクチャ監視機能を提供します。

## ベストオブブリードな Windows 監視による、堅牢な クロスプラットフォーム サポート

今日では、相当数の企業が運用環境で System Center Operations Manager を実行しています。その結果、マイクロソフトには Windows Server 環境に関する幅広い情報が蓄積されています。こうした知識ベースは、Windows Server 環境のベストインクラスの監視機能と、Operations Manager がサポートする Management Packs の情報基盤として使われます。しかしながら、多くの企業が、Windows 環境と非 Windows 環境の異種プラットフォームのデータセンター環境を運用しています。

その結果、クロスプラットフォームな監視が欠かせない機能になりました。このような経緯から、Operations Manager は、RHEL/SUSE Linux、Unix や Oracle Solaris、HP-UX、IBM AIX などに対応するクロスプラットフォームな監視機能を 1 つのコンソールに統合し、“リッチな”監視機能を実現しています。また、アラートや専門家による診断機能も、データセンターの問題を追跡し、発生した問題のトラブルシュートと解決に役立っています。

く構成ガイダンスを提供しています。System Center Advisor は、使い慣れた Operations Manager コンソールから利用できるため、IT スタッフは、サーバーの構成に伴う問題を前もって回避できるだけでなく、問題が発生しても迅速に解決できます。また、マイクロソフトは、ワークロードの構成に関する洞察を使い慣れた Operations Manager の監視コンソールから利用できるよう、System Center Advisor と Operations Manager をつなぐコネクタを導入しています。

## ネットワーク監視とクラウド インフラストラクチャの正常性

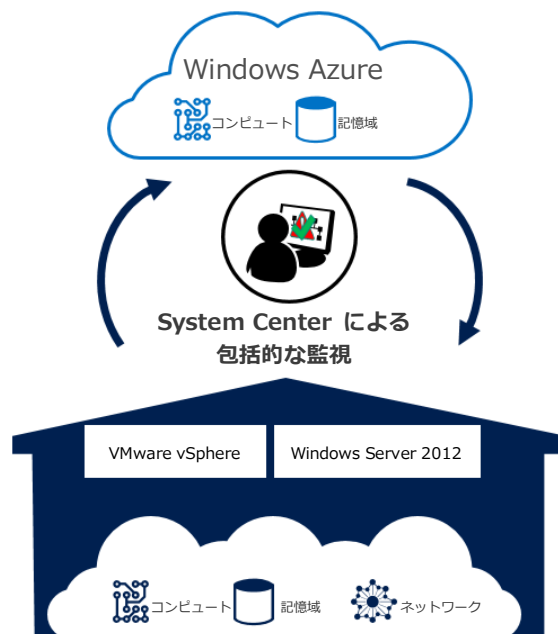
複数の環境の正常性を一括して保証できる監視ソリューションがほしいと思ったことはありませんか。Operations Manager に用意されたダッシュボードでは、包括的なビューにより、オンプレミス、クラウド インフラストラクチャの状況を一括して管理・確認できます。このダッシュボードでは、記憶域やネットワーク、コンピュータ ファブリックに対する可用性、パフォーマンス指標を一括して処理するため、インフラストラクチャのニーズに応じて必要なアクションを迅速にとることができます。ダッシュボードには、ロードバランサーや IIS プール、記憶域装置、ホスト、記憶域プール、ファイル サーバー、仮想マシン、Virtual Machine Manager サーバー、ホスト クラスターなど、様々なリソースに対応する正常性指標が用意されています。

Operations Manager を使えば、サーバーを一つ一つ監視しなくても、仮想スイッチなどのサーバー同士を接続する基本となるネットワーク トポロジを検証できます。標準で搭載されているネットワーク監視機能を使用すれば、物理デバイスの正常性を監視し、問題を検出できます。たとえば、近接ビューを使うと、仮想スイッチの表示など、残りのネットワークとデバイスの接続状態を確認できます。

System Center Management Pack for Windows Azure を使用すると、Windows Azure リソースとサービスの可用性とパフォーマンスを Operations Manager のコンソールから監視できます。さらに、この管理パックを使用すると、オンプレミスの構成要素と Windows Azure の構成要素を統合することができるため、使い慣れたコンソールの統合ハイブリッド ビューにより、アプリケーション サービスにおけるすべてのリソースを一括して監視できます。

## ベストプラクティスによるワークロード構成

今日のビジネスは、プラットフォームやワークロードの構成に、一貫性のある、確実な構成ガイダンスと自動化を求めています。System Center Advisor は、Windows Server 2012 や Hyper-V Server 2012、SQL、Exchange、Lync、SharePoint などの Microsoft ワークロードを最適化する、ベストプラクティスに基づ



System Center は、ハイブリッド データセンター環境に対応する包括的監視機能を提供。

## 次のステップ

- System Center 2012 R2 に関するその他のリソース:  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/products/system-center-2012-r2/>
- System Center 2012 R2 (TechNet)  
<http://www.microsoft.com/technet>
- System Center 2012 R2 のダウンロードおよび評価:  
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/evalcenter/dn205292?WT.mc\\_id=Social\\_R2\\_R2\\_General](http://technet.microsoft.com/ja-jp/evalcenter/dn205292?WT.mc_id=Social_R2_R2_General)
- System Center Marketplace (英語):  
<http://systemcenter.pinpoint.microsoft.com>
- ブログ (英語):  
<http://blogs.technet.com/server-cloud>